

城崎・港地域 第5回地域デザイン懇談会 結果まとめ

【第5回の開催概要】

令和3年11月15日（月） 19：00～

会場：港コミュニティセンター

第5回の参加者：15名

第5回地域デザイン懇談会の結果 【当日の会場の様子】



会場全体の様子



会場の様子



各班の発表の様子



各班の発表の様子



各班の発表の様子



各班の発表の様子

第5回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】1班

前回の面積削減案を検証し、他の班からコメントをもらう (赤字は他の班の意見)

面積削減提案	提案によって生じる課題 (デメリット)	提案によって生じる効果 (メリット)	意見あり	意見あり	意見あり	意見あり	意見あり
① 麦わら細工 (77㎡) →文芸館 (1,081㎡) に統合	<ul style="list-style-type: none"> 文化の幅が狭まる、見るものが減る？深められない 北但大震災で焼き残った貴重な建物の損失 (解体を前提として) 古い建物をなくすのはもったいない 同意です 	<ul style="list-style-type: none"> 城崎の文化が一度に(一緒に)見ることができる 文芸館に移行することで注目される度が増す 駐車場のスペースが広がり駐車場の確保と利用料収入が増える←その通り 					○
② 港小中学校を一貫校に	<ul style="list-style-type: none"> 部活が維持できなくなるかも... コミュニティが下がる 同意です 	<ul style="list-style-type: none"> 面積が削減できる 子どもの個性や成長が引き続いて見ていける 港に残るので良い、地域コミュニティが残る 					○
③ 城崎小中学校一貫校に	<ul style="list-style-type: none"> 部活が維持できなくなるかも... 地域コミュニティがDownする 小中一貫校は不可 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性や成長が引き続いて見ていける 維持費が削減できる 小学校の跡地を有効活用できる(駐車場) 					○
④ エコハウス (168㎡) 民間に譲渡して上手に活用	<ul style="list-style-type: none"> 環境都市豊岡の後退 	<ul style="list-style-type: none"> せっかく建てられたものを活かす、もったいないので 経費削減 固定資産税の納付 施設の利活用の促進 難しい/時代遅れ、エコな施設が今の時代には古い 					○
⑤ ポートセンター (1,277㎡) 県へ譲渡	<ul style="list-style-type: none"> ポートを活かしたまちづくりの後退 地元が応援しないとつぶれる 城崎の思い出なくなる 今迄の努力が無駄になる 市民がスポーツジムとして活用できる可能性をつぶしてしまう 宣伝が足りていない 	<ul style="list-style-type: none"> 施設が残れば県に譲渡しても問題なし 経費やリスクを兵庫県が負担し、名声を豊岡市享受する 					○
⑥ さとの湯 (1,684㎡) 民間に譲渡	<ul style="list-style-type: none"> 民業圧迫 	<ul style="list-style-type: none"> 赤字の解消、経営などの多様化 					○
⑦ 津居山住宅 (321㎡) 入居者がなくなったら建替えしない		<ul style="list-style-type: none"> 維持管理費がなくなり赤字解消←賛成 同意 					○
港西小を宿泊施設にする	<ul style="list-style-type: none"> コストがかかる 	<ul style="list-style-type: none"> かにシーズンだけ使用したりどうか(オールシーズンでも) 観光従事者の寮、専門職大学生の住居として活用 介護施設にしてみても 					
市住はセーフティネットなので必要		<ul style="list-style-type: none"> 今住んでいるところから動かなくてよいように 					
全但バスを周遊バスとして走らせる。ハチゴロ ウ戸島湿地などを回る。5本/日	<ul style="list-style-type: none"> 利用する人がいない 今バスが走ってるが少ない、バイクが走ってる 	<ul style="list-style-type: none"> もっとアピールする←仰るとおりです(条件がよいのに...) 観光の2次交通として定着すれば、豊岡市の魅力が増える 1hに1本遅い時間でも走っている 					
なくしてはいけない建物	<ul style="list-style-type: none"> 港小学校 さとの湯 城崎小学校 港小学校 城崎中学校 港中学校 振興局 						

第5回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】 2班

前回の面積削減案を検証し、他の班からコメントをもらう (赤字は他の班の意見)

面積削減提案	提案によって生じる課題 (デメリット)	提案によって生じる効果 (メリット)	全くありえない	ありえないかも	いいかも	どちらともいえない	ありえるかも	大いにありえる
① エコハウス (168㎡) ① いらない	・ 民間に譲渡 ・ 買い手が見つからない ・ 同意です	・ 同意です						○
② 木屋町小路 (700㎡) ② 民間に任せる	・ 無し ・ チャレンジショップという目的が果たせるか？	・ 経費の削減 ・ 3班も同意です！						○
③ ハチゴロウの戸島湿地 (152㎡) ③ 民間に任せる	・ なし ・ エコハウスと統合する ・ 専門性を持人の管理が... ・ 地域の人が管理に関われなくなる ・ 荒地になるかも ・ 大事なのは湿地自体	・ 経費の削減 ・ 民間の自由な提案で盛り上がるかも...				○		
④ 港中学校 (3,673) と 城崎中学校 (5,352) 統合	・ 通学に時間がかかる ・ 地元に愛着がなくなる ・ 若い人は考えてないかも ・ 地域の行事減るかも	・ 部活で出来るものが増える ・ 生徒間の世界観が広がる						○
⑤ 港小学校 (3,100) と 城崎小学校 (6,027) 統合	・ 小学校は特にコミュニティが壊れてしまうかも ← 同意 ・ 小学校がなくなるとより人口が減る ・ 通学費がかかる ・ インドネシアの人が運動会へ参加できない	・ スポ少ができる ・ 生徒間の世界観が広がる		○				
⑥ 文芸館 (1,080㎡) の中に 麦わら伝承館 (77㎡) と 福祉センター (2,336㎡)	・ 作業所の行き先探しが必要になる ・ ゆのはな(作業所)は地元が必要、地元の人が多い ・ 何の施設かわからなくなる ・ 目的が違うので一緒ににはむずかしい ・ スペース的にきつい	・ 維持費の削減 ・ 人件費の削減 ・ 城崎文化か一緒に見れる						○
集約に向くものは集約 貸館が空いてくる								
なくなれば自然と寄り集まってくる								
温泉交流センター(さとの湯)								
なくしてはいけない建物	・ さとの湯 城崎小学校 港小学校 城崎中学校 港中学校 港西小学校運動場 港コミュニティ 麦わら伝承館(蔵) 振興局							

第5回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】3班

前回の面積削減案を検証し、他の班からコメントをもらう (赤字は他の班の意見)

面積削減提案	提案によって生じる課題 (デメリット)	提案によって生じる効果 (メリット)	全くありえない	ありえないかも	いい	どちらでもないかな	ありえるかも	大いにありえる
① 港中学校 (3,673) と 城崎中学校 (5,352) 統合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学の交通費増 ・ 生徒の環境変化←変化に対応することも必要 ・ 同意 ・ 時間と経費の負担が増える ・ 小中一貫校いいネ! ・ 新しい校舎が必要←今の校舎を利用したらいい、城崎の校舎まだキレイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活の選択肢増 ・ 同意です ・ 次のまちづくりへ活かせる土地が生まれる 						○
② 港地区は中学校以外も 西→東へ集約 JA、小学校、コミュニティなど	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言者の方が欠席... ・ 港西地区がさびしくなる←その通り ・ 新しい校舎が必要←今の校舎を利用したらいい、城崎の校舎まだキレイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のまちづくりへ活かせる土地が生まれる ・ 思いはメリットなし 				○		
③ 市住は、目標面積3分の2へ集約。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変わる時のコスト増、建替、重複 ・ どこに持っていかかが問題 ・ 本当に必要な人が入れるか ・ グループホームなど内容の多様化が必要 ・ 今あるところにヘルパーさんが入れればよい ・ 身寄りのない人たちの共同生活できるアパートのようなものが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道などインフラの統一 ・ 新しい道路に近いところへ 						○
④ 木屋町 (700㎡) は 民間へ譲渡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間で今の条件を提供できない... ・ 譲渡より売却の方がいいのでは ・ チャレンジショップという目的が達成されない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理費の節約 ・ PRがうまくできるのでは←賛成 ・ 売却した方がもっと活性化する 						○
エコハウス(168㎡)に役場の機能を	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関係のある部署、コウノトリ、環境経済? ・ 逆に経費がかかるのでは? ・ 他部署との連携が悪くなる ・ 位置(距離)大きさに課題 ・ メリットあるか? ムリ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設の有効利用 						○
振興局を企業に貸す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部を企業に貸す ・ 行政機能の分散化 ・ 行く先が増えるのは困る ・ よくわかりません ・ 振興局の機能はどこに行く? どうなる? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家賃収入が生まれる! ・ 借りてくれるのかな? 						○
○ なくしてはいけない建物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振興局 学校 							

第5回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】4班

前回の面積削減案を検証し、他の班からコメントをもらう (赤字は他の班の意見)

面積削減提案	提案によって生じる課題 (デメリット)	提案によって生じる効果 (メリット)	全くありえない	ありえないかも	どちらでもない	ありえるかも	大いにありえる
① 城崎中学校(5,352㎡)と 港中学校 (3,673㎡) の統合	<ul style="list-style-type: none"> 距離が遠くなる 先生の目が行き届かなくなる 知らない人が増える←一時的なことでは？ 交通費用が増える 小学校は残して中学校は仕方ない 	<ul style="list-style-type: none"> 競争心が芽生える 部活の選択肢が増える 行事が賑やかになる 小学校は残して中学校は仕方ない 					○
② 図書館(266㎡)と 伝承館 (77㎡) を 文芸館 (1,081㎡) に集約	<ul style="list-style-type: none"> 知っている人が少ない(場所) 駐車場が少ない 図書館は別 子育てセンターと離れるのは、利用者が減るのでは 目的が違う施設を一緒にするのはどうだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な一体感となる 子どもに伝統を伝える機械が増える 企画でも一体となる 地域の今を知れる 			◎		
③ 城崎健康福祉センター 城崎市民センターを統合し 城崎振興局の中に集約	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さんの不利益が生じる←どういう意味ですか？利用者も職員も便利、使いやすい使いたい時に使えない可能性がある お風呂の利用ができない、車イスの方も利用できるのもったいないな～ 入れるなら入ってみいー、入れる広さがいいのでは 逆に行政の一部が福祉センターへ入り、振興局の中に民間企業を！ 	<ul style="list-style-type: none"> 事務機能を集約 デイサービスは民間へサービス向上 機能が充実 ワンストップサービスに繋がる、福祉センターの活用が維持できる←賛成(×2) 百貨店方式で一度に用事を済ますことができる←賛成！いいね！ バス停が近い 有効利用が進む 					◎
④ 豊岡市エコハウス(168㎡) 民間にまかせる	<ul style="list-style-type: none"> お試し住宅として利用しにくくなる 賛成！ 	<ul style="list-style-type: none"> 有効利用が進む 					◎
⑤ 木屋町小路 (700㎡) 民間にまかせる	<ul style="list-style-type: none"> 賛成！ 家賃が上がる←店とか人の育生をする目的が薄くなる(チャレンジショップ) 地域外の人が経営者として来る 	<ul style="list-style-type: none"> 他からの情報が入ってくる 運営方法など 上手にPRしてくれる 食べ物屋さんが入るかも(居酒屋、ラーメン屋) 		△			
なくしてはいけない建物	<ul style="list-style-type: none"> さとの湯 城崎振興局 伝承館 城崎小学校、大きな建物を建てすぎ 						

第5回地域デザイン懇談会の結果 【テーブルワーク】5班

前回の面積削減案を検証し、他の班からコメントをもらう (赤字は他の班の意見)

面積削減提案	提案によって生じる課題 (デメリット)	提案によって生じる効果 (メリット)	そのとおりでない	ありたいが	あるべきではない	ありたいが	ありたいが	ありたいが
① 城崎中学校(5,352㎡)と 港中学校 (3,673㎡) 豊岡市北中と統合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠い←賛成 ・ 地域の人にとって中学校がないのはさびし〜←さびしいと思っているのは年配の人が多く ・ 地域の中での交流が減る ・ 地域の人が中学生が何をしているのかを知らない、知ることができない ・ 地域コミュニティがなくなる ・ 地元へ愛着がなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流が増え人間として成長できる ・ どうせ今後一緒になるのなら、今のうちにやっておくと人件費も浮くのでは ・ 部活動のメニューが増える 						○
② 麦細工伝承館 (77㎡) を 文芸館 (1,081㎡) に集約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収入が減少するのでは？←その通り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光がコンパクトになる ・ 何もなし 						○
③ 市営住宅を集約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人によっては不便になる ・ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理がしやすい費用であれば抑えられる ・ 面積が減る ・ 賛成 						○
④ エコハウス (168㎡) 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外的なPRが減る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民にとってよく分からない施設がなくなる ・ Good ・ 移住者のためのおためしハウス←冬は寒いのでは？ 					○	
⑤ アートセンター (3,930㎡) 県大へ譲渡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊岡市のイメージが悪くなる ・ 売却収入は得られない ・ 観光客は行かないのでは？ ・ 駅から遠いので使えるのか？ ・ 城崎に市民が使えるホールがなくなるかも 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の負担が減る ・ 専門職大学との親和性がある ・ 芸術を特化した活用の仕方ができればいい ・ 賛成！ ・ 兵庫県としてアートに力を入れている感がでる 						○
削減が基本/ 集約の場合は特別な理由のときだけ 集約できるところはやって機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に住民目線で機能、サービスは低下させないでほしい 							
医療・教育など最低限あれば良い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の医療は近くに必要 ・ 最低限のレベルとは？ ・ この意見にメリットがないのでは？ ・ 城崎ではいいかもしれないけれど、豊岡市に広がったらムリがある(教育) ・ 小さな世界都市を目指すなら妥協はアカン！井垣 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな都市を目指すなら妥協はアカン！井垣 						
観光関連の施設は民間に委託すれば良い(文芸館)	<ul style="list-style-type: none"> ・ この意見にメリットがないのでは？ ・ 観光業は地域間のコミュニティが必要、民間は難しい！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光業は地域間のコミュニティが必要、民間は難しい！ ・ 多面的な運営が期待できる中身、利潤 						
時代無駄といって消すと必要なときなくなる 元々公共がない地域がもっと遠くなる 市の持ち物のまま、お金かけずに民間に委託 なくしてはいけない建物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城崎振興局 福祉センター アートセンター 港コミュニティセンター 							

第5回地域デザイン懇談会の結果 【参加者アンケート】

■本日の懇親会のご感想、ご意見など、ご自由にご記入ください。

第5回城崎・港地域デザイン懇談会アンケートまとめ

- ・健康福祉センターの車椅子で入れる温泉は、地元の人にも役立ち、観光資源にもなりえると思うので、施設（ハコ）として残して欲しい。
- ・施設がなくなった場合、現実的にどうなるのかを改めて考えることができたのでよかった。
- ・人に伝える難しさを痛感しました！
- ・未来を予測して、よりよい地域になっていくように、たくさんの人で話し合うことは大事だと思います。
- ・時間があったという間でしたが、久しぶりにコミュニティのことが考えられ楽しかったです。
- ・5班に分かれて討議したが、皆の想いは同じだと思う。市の事情もあると思うが。学校関係の存在は、地域コミュニティ、地域のつながりを考えた場合、残す方が良いのではないかと思う。少子高齢化の中、小学生、中学生の声は活性化にはぜひとも必要である。
- ・項目別の両地区民で大いに議論して目標を見出した。
- ・港小学校は、港地区のシンボルとなっているので統合はありえない。
- ・前回自分で出した意見についてですが、今回皆さんの意見を聞いてあらためてよく考えて、考え直すところがいくつかありました。意見を聞くのは大事だなあと感じました。
- ・地域の特性は残し続けていってほしいです。